

清新の氣

学校だより No.7
大津市立栗津中学校
令和4年1月14日
全校生徒 545名

「謹賀新年 笑顔満点」



校長 藤原 祥功

皆様、新年明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

昨年の今頃はと振り返ると、コロナ第3波で滋賀県は1月5日にレベル3に引き上げていました。今年は何とコロナ第6波でスタートです。県は1月7日に「警戒を強化すべきレベル2」に引き上げました。学校も向かい合った活動時間を短縮する等でスタートです。改めて感染対策を確認し、教職員と子どもたちで頑張りたいと思います。

さて、新年明けの新聞の見出しに「マンハッタン1室194億円」とありました。ボーッとしていたので「う～ん？意味わかりませんね…」と頭の中でつぶやいていました。読んでみると今の資本主義の状況（豊かさの歪んだ世界）について問い直す連載記事でした。

内容は人それぞれとらえ方があるので語りませんが、私自身はどこに価値基準を置いて生きているのか？何に満足しているのか？私の「幸せのかたち」をボーッとしながら思い描いていました。結局のところ、「幸せのかたち」は年齢を重ねるごとに変化し人、それぞれであり、自分に合ったかたちを探していくことが一番大切なことなんだろうな、と考えが落ち着きました。我が子に目を向けると、小さい頃「自転車に乗れた！」「逆上がりができた！」、何でも褒めたら飛び上がって喜んでいました。今は大学のレポート攻撃に苦しむ子、好きなことしながらも高校卒業後の進路に対する漠然とした不安に苛まれている子、予測不能な現代社会において、この子どもたちも「幸せのかたち」を探していかなければなりません。夕食を共にしながら「頑張れよ。」と心で伝えました。そんな正月三が日でした。

生徒の皆さんはどのような正月を迎えられましたか？3年生の皆さんは2月3日から始まる県内私学を皮切りに受験がスタートします。2学期終業式に「君は君の（受験）勉強を全うする。全集中！」と激励したのに、コロナ対策まで気を使うことになり本当に大変だと思います。改めて「みんななら、やればできる！」と応援させていただきます。ご家族の皆様も心労が重なると思います

が、どうか一番の栄養である笑顔で支えてあげていただければと思います。

1、2年生の皆さん、3学期始業式の私の話でちょっとは笑ってくれたかなと思います。そして最後は「笑顔満点でいきましょう。」と言いましたね。素敵な笑顔を見せてください。それから2学期終業式に出した問題の正解者には確かにプレゼントしました。今度は面白い話や良かったエピソードをきかせてください。校長室で待っています。

学校協力者会議

12/17（金）、地域の方に集まっていただき、学校協力者会議を開催しました。学校から、11月に行った「学校振り返りシート」結果、全国学力・学習状況調査結果、本校の生徒の現状等を説明しました。その後、子どもたちの学校外での時間の過ごし方やヤングケアラーの問題、スマホ等の扱いなどの内容で意見交流をしました。ご参加いただいた役員のみなさん、ありがとうございました。次回は、2/18（金）に予定しています。

2学期期末懇談会

12/15（水）から5日間、期末懇談会を行いました。日頃の学校や家庭での様子などを保護者の方を交えて交流しました。3年生は、受験校等の確認も行いました。お忙しい中、時間を作ってお越しいただきありがとうございました。2月に1、2年学年保護者会を予定しています。



3年生 受験シーズン



1月に入り、いよいよ受験シーズン本番となっています。冬休み中に準備した願書も提出を終え、緊張は最高潮でしょうか。どんな勝負ごとにも「適度

な緊張」というのは欠かせない要素の一つです。仮に緊張感が全くないと、普段通り振る舞い、ついうっかりミスをしたり、挨拶や面接などでも慣れ慣れしくなったりしてしまいます。適度なストレスは、パフォーマンスやモチベーションを上げるのに必要な要素となりえます。気持ちを落ち着かせて臨みましょう。今週から面接を受ける人のために面接練習が始まっています。服装・頭髪等整え、しっかりと準備をして臨みましょう。

3年生 性教育

12/6（月）と9（木）に3年生を対象に性に関することや恋人とのつき合い方、LGBTの多様な性について講師の先生にお話をいただきました。生徒の感想を紹介します。

- ・ 今後どのようなして行くと相手が喜ぶのか考えるきっかけになった。
- ・ 人間の身体には色々あってそれがどんな役割をしているか詳しく知れた。
- ・ 正しい性について改めて学び、正しい知識を持って過ごそうと思った。
- ・ しっかり相手に同意をとることが大切だと思った。



部活動での表彰

12/27（月）に行われた第50回滋賀県アンサンブルコンテスト地区大会に吹奏楽部が出場しました。練習の成果が発揮でき、見事金賞に輝きました。県大会は1/15（土）に守山市民ホールで開催されます。乞うご期待！



また、12/11（土）に、石山商店街振興組合より全国大会出場者表彰ということで



柔道部3年西條さんと吉岡君、ヨットで活躍している1年須田君（欠席）が表彰されました。おめでとうございます。



「ふるさと体験学習」

（晴風の広場に載せる原稿を書いてもらったものです）

1年 野々山 惣太

僕たちは葛川に行き、災害時、電気もガスも無い所での炊き方を学びました。事前に新聞紙でお皿を作り、葛川に行きました。れんがを並べてかまどを作り、まきや新聞紙を入れて火をつけました。うちわであおぐ時には強すぎても弱すぎてもいけないので、とても苦労しました。そしてお米は、自分たちで用意した350mlのアルミ缶に入れ、アルミホイルをかぶせ、金網の上にのせて炊きました。班全員で協力し、20分程かけましたが、味はとても美味しいと言えるものではなかったです。いつもお米は炊飯器で炊き美味しいです。いつもの美味しいお米の味が当たり前だと思っていたので、今回電気とガスを使わずかまどで炊いたお米を食べてみて、いつも美味しいお米を当たり前で食べられていることがすごく幸せなことだということに気づかされました。かまどを使ったお米の炊

き方を覚えたので、もし災害がおき、自分の住んでいる場所が被災してもその場にある物を使い、お米を炊くことができると思います。災害がおきると、食べ物の味だけでなく、色々なものがつぶれます。しかし、災害は自然におきるものなので、防ぐことはできません。だから日ごろから避難経路の確認や、防災備蓄品の準備をし、災害がおきたためのために備えておきたいです。

葛川を通して学んだこと 1年 飛田 はづき

私たちは葛川少年自然の家に行きました。行く前に「笑顔×200」という学年スローガンをたてました。このスローガンには、「私たち1年生全員が楽しく笑って過ごせる学習にしよう」という思いがこめられています。私たちのクラスはどの班も協力してみんな笑顔が輝いていました。葛川少年自然の家に来るのは2回目ですが、今回は前回の時とは違って、とても自分のためになるようなことを学びました。今回は飯盒炊さんという活動をしました。災害時にある物だけで生きのびないといけないので、限られた物資だけでご飯を炊くのは、とても大変でした。でも、班の人と協力して活動して、とてもスムーズに上手に炊くことができました。がんばって炊いたご飯はいつものとは違うおいしさの味でした。その後、ウォークラリーをしました。普段はあまり話さないクラスメイトともこの活動を通してたくさん話すことができました。色々な人と関わることでクラス一人ひとりのことをもっと深く知ることができ、このクラスは個性豊かで明るい元気なクラスだと改めて思いました。この団結力を文化祭や体育祭などといったこれからの行事に活かしていきたいです。

■卒業式と入学式の予定■

【卒業式】3/15（火）9時30分より本校体育館で、第75回卒業証書授与式を挙行政します。今年度も新型コロナウイルス感染防止のため簡素化、時間短縮で実施します。保護者のみの参加でお願いします。在校生は参加しません。自宅学習です。

【入学式】令和4年度入学式は4/8（金）午後より本校体育館で挙行政します。卒業式同様に、対象生徒およびその保護者のみの参加です。

※卒業式と入学式についてはグラウンドを駐車場に開放しますが、できるだけ公共交通機関等をご利用ください。お車で越しの方は、体育館側からお入りください。

「少年老い易く学成り難し」

「一寸の光陰軽んずべからず」



さて、その意味は…「若いうちは先があると思っているが、すぐに年月が過ぎて年をとり、何も学べないうちに終わってしまう。わずかな時間でも無駄に過ごしてはいけない」という意味です。3学期はすぐに時間が過ぎます。一日一日を有意義に過ごしてください。さあ、今からここから！